

動物実験報告書の記入方法

○実施期間内であっても動物実験計画書ごとに毎年提出が必要です。

○紙媒体ではなく、Excel ファイルをメール添付にてご提出ください。

様式3(第13条関係)

提出日を記入
平成 31 年 月 日

岡山大学長 殿

動物実験報告書

動物実験責任者名
所属 :
職名 :
氏名 : 印

承認番号を記入
承認番号 OKU- の動物実験計画を下記の通り、実施しましたので報告いたします。

記

1. 報告区分 _____

2. 実験実施期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

3. 期間中の実験動物種及び総使用動物数

動物種	系統	性別	匹数

4. 備考
(中止の場合はその理由、完了、年度報告の場合は気付いた点等について記述ください)

○実験を中止する場合はその理由
(例)OKU-〇〇〇に移行するため、この実験は中止とする

○使用匹数が計画書の予定数を超えた場合はその理由
※そのほか自己点検票に書ききれない事項を記載

○実験を実施しなかった場合
「〇〇年度は実験を実施しなかった。」と記載

●「使用動物数=実験に使用し安楽死させた数」

●遺伝子組換え動物はバックグラウンドではなく、どの系統を使用したか分かるように記載
(計画書に記載してあれば略称・通称でも構いません)

動物実験計画書の責任者名を記入
(押印不要)

●所属と職名が承認済計画書と違っている場合
→現在の所属と職名を記入

●責任者が退職・転出等している場合
→代わりに提出する方の所属・職名・氏名を記入して提出

報告区分は3種類

(1) 年度報告
次の年度も引き続き実験を実施する場合に選択
※実施期間が満了する計画書は継続申請している場合に限り選択可能

(2) 完了
実施期間が満了し、実験を終了する場合に選択

(3) 中止
実施期間の途中で実験を中止する場合に選択
※報告区分を「完了」「中止」にした場合、計画書は失効します。

●開始日
前年度より継続の計画書の場合
4月1日
年度内に承認された計画書の場合
承認日または承認日以降の実験を開始した日

●終了日
完了・中止の場合
完了日または中止した日
年度報告の場合
3月31日

2 ページ目 (自己点検票)

- ・ 実験を実施したら記入
- ・ **実験を実施しなかった場合→未入力で提出**

平成30年度 平成 31 年 0 月 0 日

岡山大学動物実験の自己点検票

動物実験責任者	氏名:	0	所属:	0
実験計画	1 ページ目に承認番号を入力するとデータが反映されます			
研究課題名	#N/A			

点検項目	点検結果	備考
1 実験は計画書に記載した場所のみで実施したか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
2 げっ歯類以外の動物の大規模救命手術（開胸術、開腹術、開頭術など）は専用の手術室で実施したか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 該当せず	
3 げっ歯類以外の動物の大規模救命手術（開胸術、開腹術、開頭術など）は無菌的に実施したか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 該当せず	
4 侵襲性の高い大規模救命手術（開胸術、開腹術、開頭術など）は十分な知識と経験を有する者、あるいはその指導下で実施したか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 該当せず	
5 救命手術において術後観察および必要に応じた術後管理（術野消毒、術後鎮痛、補液、抗生剤投与、保温など）を実施したか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 該当せず	
6 計画書に記載した麻酔および鎮痛処置を実施したか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 該当せず	(鎮痛、麻酔薬名) ※
7 計画書に記載した安楽死方法を実施したか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 該当せず	(安楽死法) ※
8 苦痛度が高い実験において、人道的エンドポイントに沿った安楽死を実施したか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 該当せず	
9 実験目的以外の動物の傷害や疾病が発生した場合、適正な治療、措置（安楽死も含む）を実施したか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 該当せず	
10 動物実験に際して、動物に起因する人の傷害や疾病（アレルギーを含む）の罹患はなかったか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> ある	(傷害、疾病名)

● 各項目で「いいえ」又は「ある」をチェックした場合は、備考欄に理由を記入すること
 ● 項目6,7で「はい」をチェックした場合は、備考欄に具体的な名称、方法等を記入すること
 ● 項目6,7で「該当せず」をチェックした場合は、備考欄に理由を記入すること

該当する点検結果を選択

該当する点検結果を選択

○麻酔・鎮痛処置をした場合は※印の欄に麻酔方法の記載が必要です！
 （麻酔・鎮痛処置の不要な実験の場合→「該当せず」を選択）

○安楽死を実施したか？
 「はい」→※印の欄に安楽死方法を記載
 「いいえ・該当せず」→※印の欄に安楽死方法と理由を記載

○計画書と違う麻酔方法、および安楽死処置を実施した場合は理由を書いてください。長文になる場合は1 ページ目の備考欄に記載してください。

○ペントバルビタールナトリウム・セコバルビタールナトリウムの使用に関して
外科的処置（皮膚切開など）の苦痛軽減を目的としてペントバルビタールを単独投与することは禁止です。
 計画書でペントバルビタールの記載があっても、実際に行った方法を書いてください。

例) ペントバルビタールを過剰量投与（150mg/kg）し安楽死する→○K
 例) ペントバルビタール（50mg/kg）を投与し、瀉血して安楽死→×（瀉血の際に切開が必要なため不可）

なお、商品名ソムノペンチル（成分名ペントバルビタール）およびアイオナール（成分名セコバルビタール）は販売終了となりました。安楽死等で用いる薬品を変更する場合は、動物実験計画書の再申請（薬剤変更）が必要です。